

NPO おくすり教室 クイズ・アンケート解析結果 低学年・高学年の比較

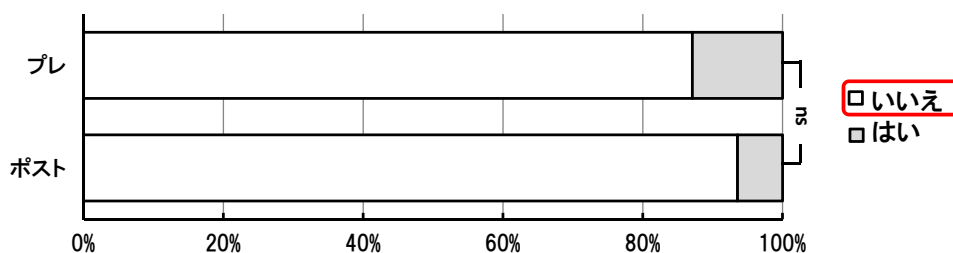
2013/6/28

恵那市立東野小学校

くすりの使用について

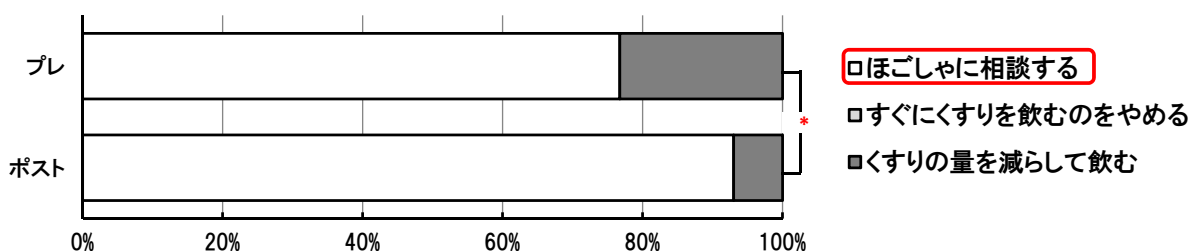
低学年

2. 病気になって病院や薬局でもらった「くすり」を飲んでいて、
病気が治ったと思ったらすぐに「くすり」を飲むのをやめてもよいでしょうか？



高学年

2. 病気になって病院や薬局でもらった「くすり」を飲んでいて、
病気が治ったと思った時は、どうすればよいでしょうか？



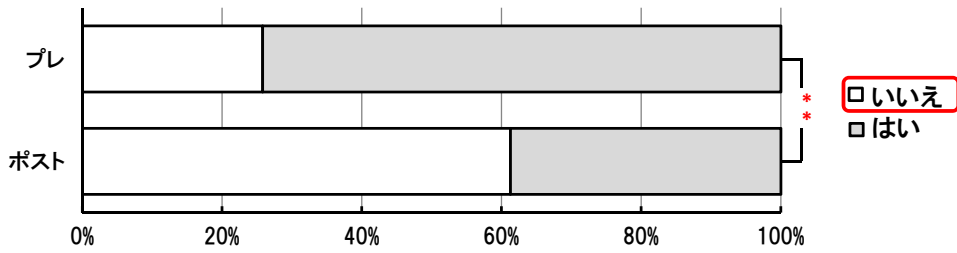
- 約90%の低学年の児童は、病気が治ったらすぐに薬を中断することは良くないと知っていた。
- 約20%の高学年の児童は、病気が治ったらくすりの量を減らして飲むと回答したが、ポストテストではほごしゃに相談すると回答した割合が増え、正答率が有意に増加した。
- 体験実験を通じて、くすりの使用は自分の判断で中止したり、減量したりしてはいけないことが身に付いたと考えられる。

Fischerの正確確率検定 * $P < 0.05$, ns: 有意差なし

くすりの働きと副作用について①

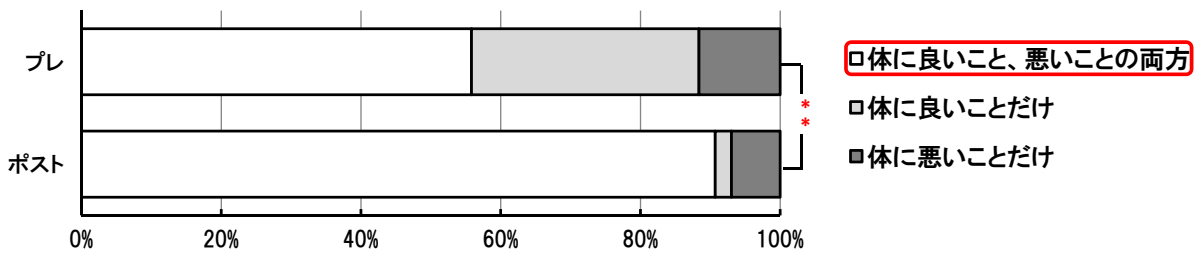
低学年

6. 「くすり」は病気を治すだけで、体にとって悪いことはしないでしょうか？



高学年

6. 「くすり」は体にどのような働きをするでしょうか？



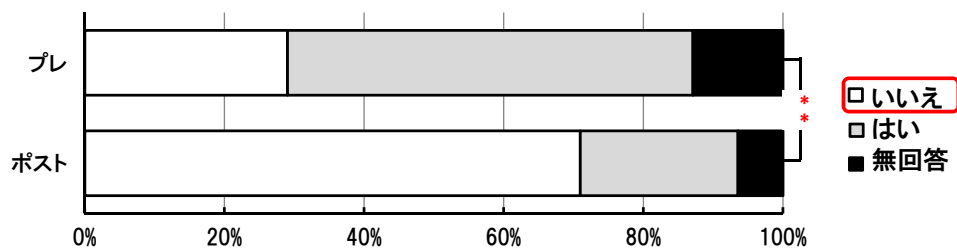
- 低学年の児童において、くすりが体にとって悪い作用を持つことを知っていたのは約25%であった。
- 高学年の児童では、約55%であった。
- 低学年・高学年どちらもポストテストにおいて正答率は有意に増加し、くすりは体に良い作用だけを持つのではないと理解できたと考えられる。

Fischerの正確確率検定 **P<0.01

くすりの働きと副作用について②

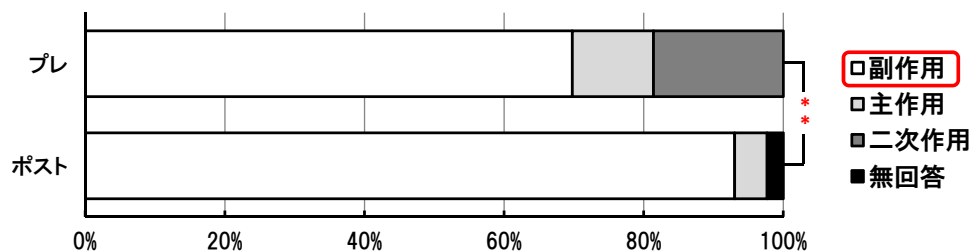
低学年

7. 「副作用」とは、「くすりが病気を治す働き」でしょうか？



高学年

7. 「くすり」の、病気を治す働き以外の作用を何といいますか？



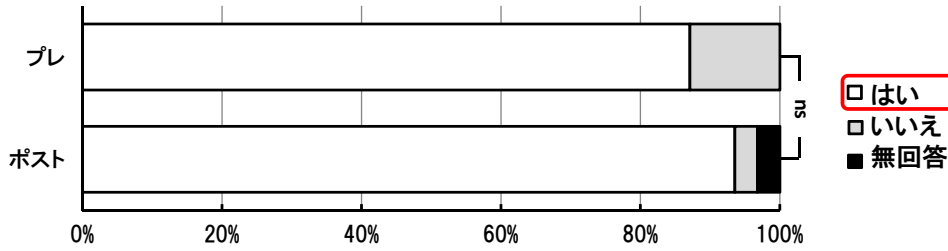
- 低学年では約30%、高学年では約70%が「くすりが病気を治す働き＝副作用」ということを知っていた。
- ポストテストでは低学年・高学年どちらも正答率は有意に増加し、体験実験を通じて、くすりの副作用についての理解が高まったと考えられる。
- 本取り組みより、児童は副作用という言葉を知っているだけでなく、副作用の危険性について理解が深まったものと示唆された。

Fischerの正確確率検定 **P<0.01

副作用の対処について

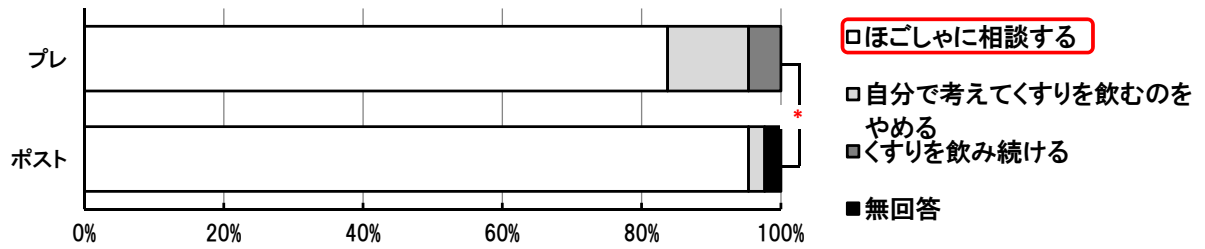
低学年

8. 「くすり」を飲んで、病気を治す働き以外の作用が出た時は、
ほごしゃに相談すればよいでしょうか？



高学年

8. 「くすり」を飲んで、病気を治す働き以外の作用が出た時は、
どうすればよいでしょうか？



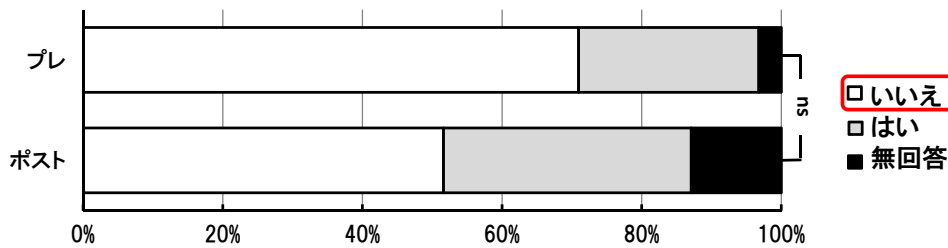
➤ 低学年・高学年どちらも80%以上の児童が、くすりの副作用が出た場合は、保護者に相談すると回答した。

Fischerの正確確率検定 * $P < 0.05$, ns: 有意差なし

カプセルの有用性について

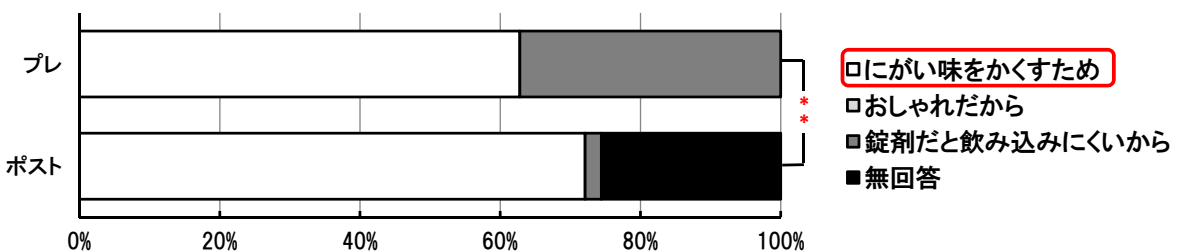
低学年

14. くすりの見た目をよくするために「カプセル」になっているのでしょうか？



高学年

14. どうして「カプセル」になっているのでしょうか？



➤ 低学年の児童では、カプセルがくすりの見た目を良くするために用いられているのではないと回答出来た割合が減少した。

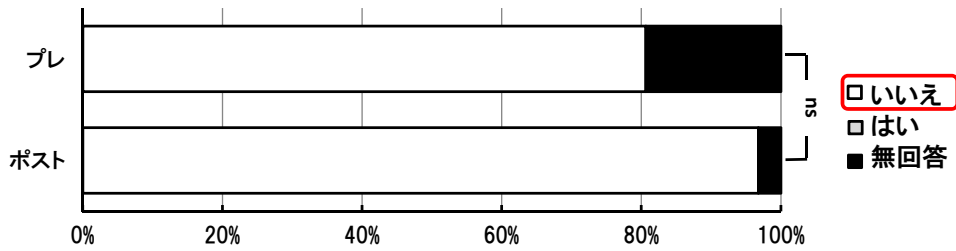
➤ 高学年の児童では、カプセルが用いられるのは、錠剤だと飲み込みにくいからと回答した割合は、体験実験を通じて有意に増加した。

Fischerの正確確率検定 ** $P < 0.01$, ns: 有意差なし

くすりを飲む水の量について

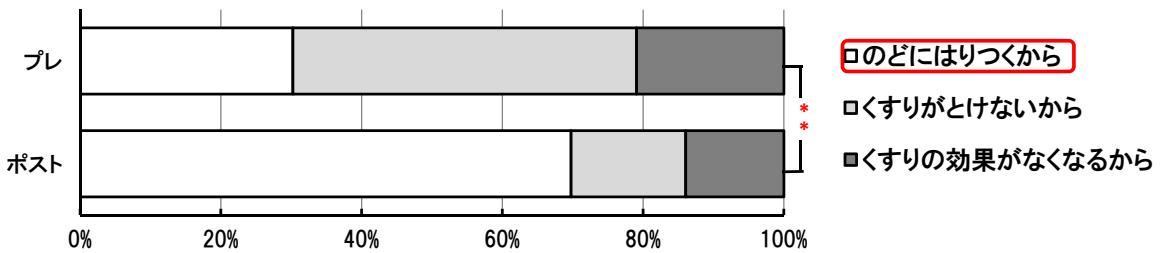
低学年

15. 「くすり」を少ない水の量で飲んでもよいでしょうか？



高学年

15. なぜ、少ない水の量で「くすり」を飲んではいけないでしょうか？



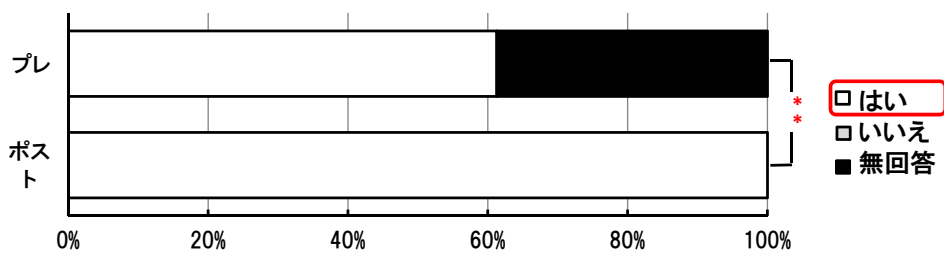
- 低学年では約80%がくすりを少量の水で飲んではいけないと回答した。
- 高学年のプレテストでは、のどにはりつくから少量の水で飲んではいけないと回答していた割合が多かったが、ポストテストではのどにはりつくからと回答する割合が有意に増加した。

Fischerの正確確率検定 **P<0.01, ns: 有意差なし

坐薬について

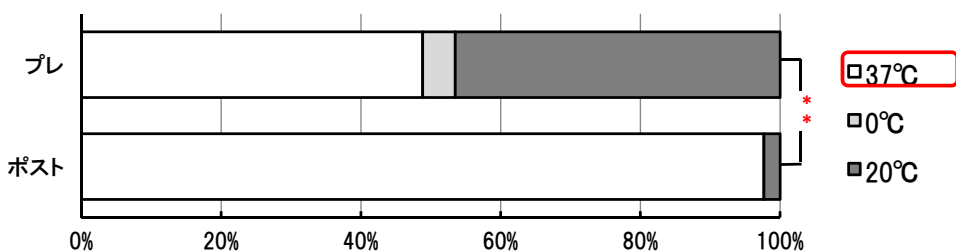
低学年

16. 「ざやく」は人の体温と同じ温度でとけるでしょうか？



高学年

16. 「ざやく」は何度でとけるでしょうか？



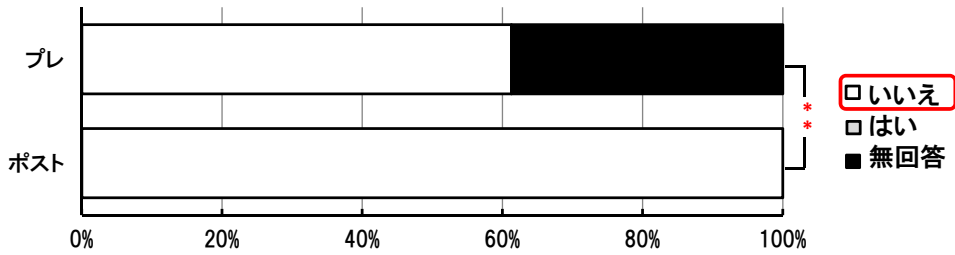
- ざやくが人の体温(36℃)で溶けると知っていたのは、低学年で約60%、高学年で約50%であったが、実験講義を通じてどちらも有意に正答率が増加した。

Fischerの正確確率検定 **P<0.01

くすりと飲み物の相互作用

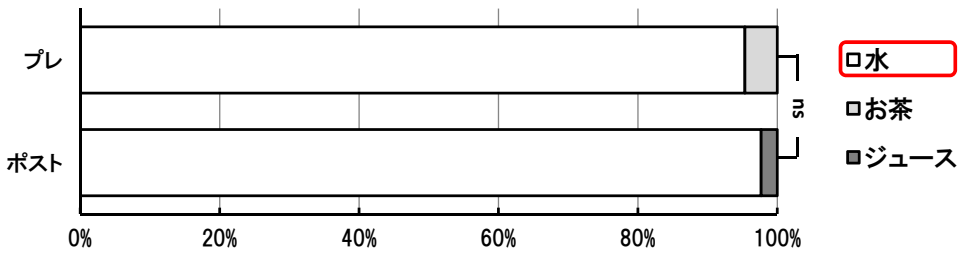
低学年

17. 「くすり」をお茶で飲んでもよいでしょうか？



高学年

17. 次の飲み物のうち、どれで「くすり」を飲めばよいでしょうか？



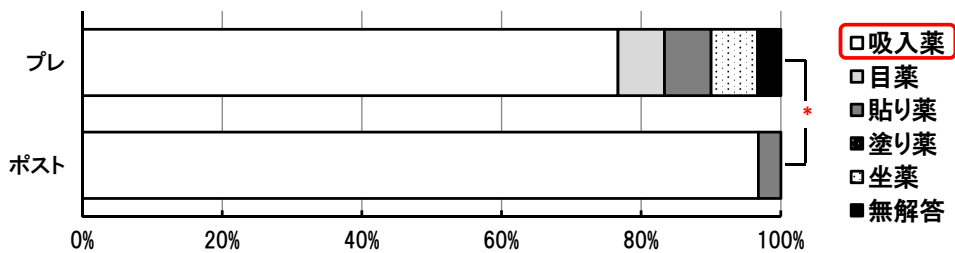
- 実験講義を通じ、くすりとお茶の相互作用について低学年では全員が正解することができた。
- 視覚的変化のある実験(お茶と鉄剤で黒色)を通じて、お茶とくすりの相互作用をより理解できたと考えられる。

Fischerの正確確率検定 **P<0.01, ns: 有意差なし

くすりの剤形について

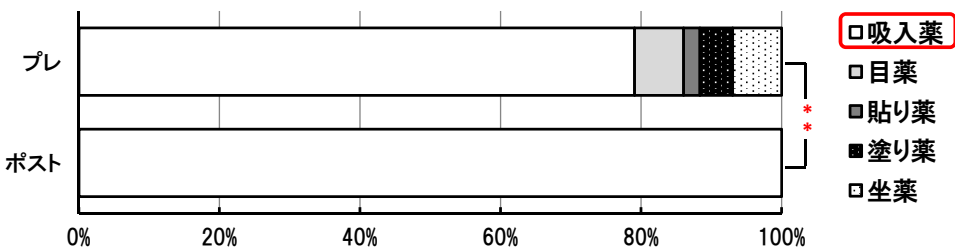
低学年

11. 吸入薬



高学年

11. 吸入薬



- 低学年・高学年の児童はどちらも吸入器とその他の剤形の薬を混合していた。
- 実験講義を通じて、低学年・高学年どちらも正答率は有意に増加した。

Fischerの正確確率検定 *P<0.05, **P<0.01